NEWS RELEASE

2026年11月16日

増床することなく取扱アイテム数を4倍に拡大した物流改善事例を発表

～JILS関西物流改善事例発表会2026で物流センターにおける改善活動を紹介～

株式会社NTTロジスコ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：中江康二、以下「NTTロジスコ」)は、10月20日に公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(JILS)が主催した「関西物流改善事例発表会2026」において、当社福岡物流センターによる、「ネット通販取扱いアイテム数4倍に対応した取り組みについて」の改善事例を発表したことをお知らせします。本事例では、保管場所や保管方法の見直しなどにより、増床することなく取扱いアイテム数の大幅な拡大を実現した取り組みについて紹介しました。

1．発表テーマ

現場の知恵を活かした改善で実現するお客様とのWin-Win関係の深化

2．発表内容

(1)概要

福岡物流センターで運営している工業用品を取り扱う物流では、約400坪の保管エリアでネット通販を運営しているお客様の多品種の商品を取り扱っています。こうした中、お客様より保管アイテム数を従前の2,500SKU規模から10,000SKU規模の4倍に拡大したいとのご要望をいただき、既存保管エリア内での実現に向けて、保管効率および空間充填率の向上のための改善に取り組みました。改善の実施にあたっては、作業者全員で現場の課題や改善策を日常的に共有する「改善ボードを活用した改善活動」を取り入れました。この改善活動は、作業者自らが現場の様々な課題や改善要望をホワイトボードにポストイットで掲示し、それに対する意見や改善アイデアを書き足していくことで具体的な改善施策につなげる全作業者参加型の改善手法です。現場の作業者の生の意見やアイデアから改善案を創出することで、実態に即した保管効率の向上や作業性向上等につながる取り組みを推進しました。

(2)改善内容

保管効率の向上、作業性向上に向けて以下の取組みを実施しました。

①出荷頻度分析に基づく保管場所の見直しによる新商品の保管スペースの創出

②ねじ等の小物商品の形状に応じた保管ラックおよび可動式棚の導入により、新たに230間口を創出

③衣料品等をファイルボックスで縦置き保管することで、55間口を確保

④長尺かつ重量物の製品について、保管場所および保管方法を見直し、縦置き保管から平置き保管へ変更。従来は重量の中心を持ちにくく不安定な運搬作業となるため対応可能な作業者が限定されていたが、平置き化により誰でも安定した運搬が可能となり、作業者を限定しない作業環境を実現。

これらの改善を組み合わせることで、既存スペースの保管能力を向上させ、増床することなく保管可能SKU数を従来の2,500SKUから10,000SKUまで拡大するとともに、作業性の向上を図りました。

また、作業量の増加に対応するため、他物流のリーダーと繁忙時間帯および人員状況を共有し、応援可能な時間と人員数を明確にしました。その結果、「必要な時間に、必要な稼働」を投入できる相互応援体制を構築し、取扱量増加に対応しながら安定した物流品質を維持できる運営体制を実現しました。

＜発表会の様子＞





NTTロジスコは、3.5PL®事業者として、経営ビジョン「私たちは、お客様の物流を進化させ続け、お客様と社会に美しく透明な流れをつくる会社です」の実現に向け、お客様にご満足いただける安全かつ最先端の物流を提供し続けるとともに、お客様のサプライチェーン最適化に貢献するサービス・ソリューションを提供します。これらを活用し、客観的な視点でのご提案により、サプライチェーンにおけるプレイヤーをつなぐ「サプライチェーントータルコーディネーター(SCTC®)」を目指していきます。

※「3.5PL®」、「SCTC®」はNTTロジスコの登録商標です。

＜本件に関するお問合せ＞　https://www.nttlogisco.com/
株式会社NTTロジスコ　企画総務部 企画部門 広報担当　TEL 03-6436-8105